



11月14日は世界糖尿病デー！！

世界糖尿病デーは、世界中に広がる糖尿病に対し、1991年IDF（国際糖尿病連合）とWHO（世界保健機関）が制定、2006年国連により公式に認定されました。



フレデリック・バンティング医師

11月14日は、インスリンを発見したバンティング医師の誕生日であり、糖尿病治療に画期的な発見に敬意を表し、この日を糖尿病デーとしています。



笑顔でいるための、
ブルーサークル。

11月14日は世界糖尿病デー。

世界糖尿病デーでは、「ブルーサークル」が用いられます。国連やどこまでも続く空を表す「青」と、団結を表す「輪」をデザインし、
”Unite for Diabetes（糖尿病との闘いのため団結せよ）”
というキャッチフレーズで、世界中で糖尿病抑制に向けたキャンペーンを行っています。

11月14日には世界中の1,000カ所以上で、有名な建造物がブルーにライトアップされます。その目的は、シンボルである「ブルーサークル」の認知を広めて、糖尿病対策の必要性を訴えることです。



三次市は、昨年まで十日市コミュニティーセンターで行われていました。
（今年は三次ワイナリーでライトアップ予定）



＜編集後記＞

実りの秋、食欲の秋がやってきました！
食べすぎに注意しましょう！！

発行元：市立三次中央病院

糖尿病療養指導チーム

文 責：臨床検査技師 日野原 彩

